

2020年3月4日  
Noema Noesis 団長  
橋本 光

## 合唱指揮マスタークラス&コンサート『ぶどうの木』延期について

今般の新型コロナウイルスを原因とする新型肺炎の流行に伴い、当団が3月22日（日）に開催予定でありました合唱指揮マスタークラス&コンサート『ぶどうの木』（以下当コンサート）の開催延期を決定いたしました。

### 1. 開催延期に至った経緯

政府は2月26日に今後2週間の大規模イベントの自粛を要請しました。当コンサートは最大で数百名規模であり、また2週間後以上であるため自粛対象にはあたらないものの、現状で認識できるリスクを考慮し、2月28日に当団の運営チームで議論の上で延期を決定いたしました。延期の判断に至った理由は次の5点です。

まずリハーサル中の飛沫感染のリスクです。報道で伝えられているように、リハーサル中の飛沫感染のリスクも考えられました。合唱は人が集まり、長時間・近距離で声を出します。これは厚労省の述べる濃厚接触にあたる可能性があります。集団感染につながる可能性があるため、大事をとって活動を避けるべきだと判断しました。

次に当団のリハーサルの形式のリスクです。当団は合宿形式の直前リハーサルのために全国から団員が集まります。移動時に新幹線やターミナル駅など、人混みを通ることは避けられません。2日間の短期集中のリハーサルなので体力的にも厳しいスケジュールになります。多くの人と接触しながら東京にやってきた団員がリハーサルで疲労を蓄積していくことは、感染および重症化のリスクが大きくなると考えました。

また、今回はマスタークラスという学びの場であることも延期理由の一つになりました。外部から参加して下さる受講生の安全の確保も当団の責任となります。受講生がレッスンや披露演奏に集中出来る環境でなければなりません。ひいてはそのような安全が約束できないならば開催するべきではないと考えました。

そして、コンサート会場は密閉空間です。空気の入れ替えが困難な可能性も十分考えられます。また、前日までは他の団体が使っている予定なので、階段の手すり、椅子の肘掛、トイレなど完全に消毒するのは不可能であり、それらからの感染リスクも考えられました。

最後に、コンサートの目的が達成できないことも理由になりました。今回は「実を結ぶ命」をテーマとしたコンサートです。1人1人に与えられた才能、使命、それを果たすにはどうすればいいかを皆で考えるプログラムとなっています。集まった人たちが時間と空間を共有し、喜びをもってエネルギーにしてもらうためのコンサートです。そこに、不安や恐れ、疑惑があると、提供したい価値が意味をなしません。

以上の5点の理由から今回のコンサートの開催を見送ることと決定いたしました。ご来場を予定して下さったお客様を初め、受講生や関係者各位に多大な迷惑を掛けてしまうことは重々承知しておりますが、今後も長く音楽活動を続けるためには万が一の事態は避けなければならないと苦渋の決断になりました。なお、今後の対応については次節にてご案内いたします。

### 2. 今後の対応について

当コンサートは2020年8月10日（月・祝）に古賀政男音楽博物館けやきホールにて開催する予定です。今回のマスタークラス受講・聴講予定だった皆様に対しては予定のヒアリングを行っています。参加が叶わない場合は受講料の返金対応をいたします。チケットにつきましては払い戻しの対応となります。こちらから順番にご案内を差し上げる予定です。万が一3月中にご案内が届かなかった場合は、大変お手数ではございますが当団までご連絡ください。

以上

問い合わせ先：  
[noemanoesis2014@gmail.com](mailto:noemanoesis2014@gmail.com)（橋本）